

株主メモ

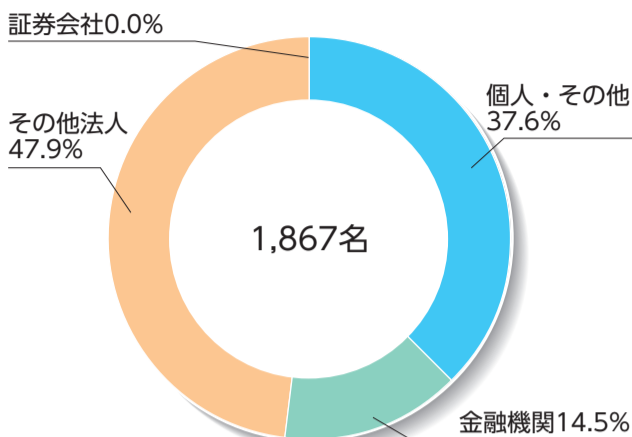
事業年度	4月1日から翌3月31日まで
配当金受領 株主基準日	3月31日
定時株主総会	6月
公告の方法	電子公告（当社ウェブサイトに掲載いたします。）ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	証券会員制法人札幌証券取引所
単元株式数	100株
証券コード	8104
お手続き お問い合わせ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 0120-288-324 (土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

（ご注意）株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（みずほ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。なお、未払配当金につきましては、みずほ銀行およびみずほ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

株式データ

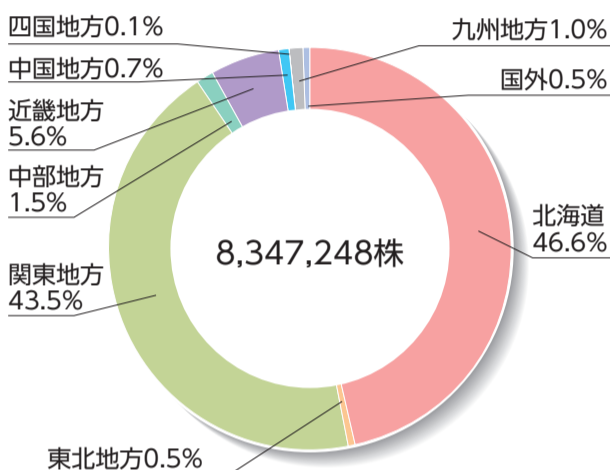
前事業年度にくらべ、株主数は1,053名増加いたしました。
当社主要市場である、北海道の株主の皆様には大変手厚いご支持をいただいております。

所有者別株主分布状況



※自己名義株式は「個人・その他」に含まれております。

地区別株主分布状況



株式会社クワザワ

〒003-8560
札幌市白石区中央2条7丁目1番1号
電話 (011) 864-1111 (代表)
<https://www.kuwazawa.co.jp/>



お客様専用ダイヤルを設置しております。
お客様相談室 電話0120-953-353

株主の皆様へ



代表取締役社長 桑澤 嘉英

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜わり、厚くお礼を申し上げます。

昨年度は、実質賃金の伸び悩みに伴い個人消費に力強さはみられませんが、企業収益の向上を背景に設備投資が持ち直し、わが国経済は緩やかに回復しました。

住宅分野におきましては、相続税対策による貸家着工が大幅増となり、持ち家も住宅ローン金利の低水準を背景に安定的に推移したことから、住宅投資は全国的に整調に推移しました。

このような経営環境において、連結業績は、売上高893億38百万円（前年同期比6.5%増）、経常利益13億9百万円（同2.1%増）となりましたが、連結子会社が加入する「北海道石油業厚生年金基金」が解散認可申請を行い受理されたことに伴う特別損失を2億1百万円計上したことなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は5億31百万円（同26.9%減）となりました。

事業のさらなる拡大を目指して、昨年4月に、栃木県所在の原木屋産業株式会社および原木屋セーフティステップ株式会社をM&Aにより完全子会社化して関東市場での拠点を拡大するとともに、仮設資材のリースおよび組み立て事業に新規参入しました。また、今年4月には名古屋市内

に営業所を開設し、中部地区への建材販売も強化していきます。一方で、昨年4月に連結子会社の株式会社建材社を株式会社クワザワに統合し、グループ内における事業の効率化を図りました。

少子高齢化の進行により新設住宅着工戸数の減少が見込まれる中、札幌駅前通地下歩行空間において、当社グループ主催の「リフォーム体感フェア」を4日間にわたり開催し、リフォーム需要の掘り起こしを行っています。また、不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」を運営する株式会社LIFULLと合併会社「株式会社LIFULL Remodel」を設立し、インターネットを介してのリフォーム需要の開拓を開始しました。

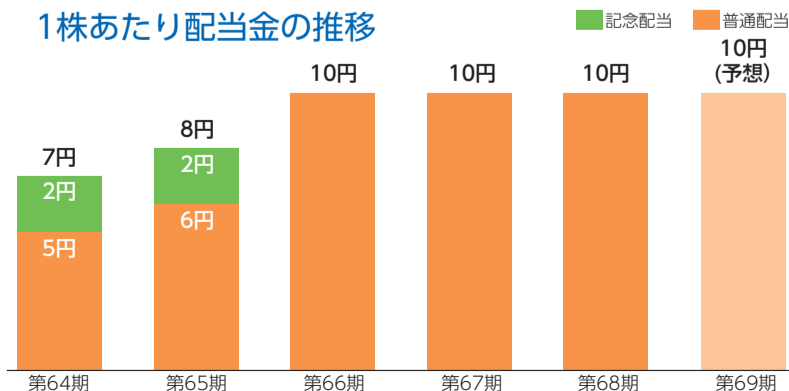
現在、札幌本社ビルの敷地内に4階建ての新社ビル（延床面積7,581㎡）を建設中です。来年3月中には新社ビルへの移転を予定しており、市内に分散している部署や子会社を集約して効率的に仕事のできるオフィスを目指します。

また、北海道の広域物流拠点である「大谷地流通センター」（札幌市白石区）に新倉庫を建設中です。今後は物流機能を更に高めて、お客様のニーズに応えてまいります。

当期（平成29年3月期）の配当は10円とさせていただきます。なお、昨年9月に発表しました株主優待制度に基づき、平成29年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上保有の株主様を対象として、一律クオカード1,000円分を贈呈させていただきます。クオカードのデザインは、当社のマスコットキャラクター「たんたん」の顔をモチーフとしています。また、次期（平成30年3月期）の配当は10円を維持させていただき、株主優待制度も継続させていただく方針です。

株主の皆様におかれましては、今後一層のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

1株あたり配当金の推移



KUWAZAWA Report

クワザワビジネスレポート

第68期 事業報告
平成29年3月期

第68回定時株主総会決議ご通知

平成29年6月29日開催の当社第68回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

報告事項

- 第68期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第68期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）計算書類報告の件
本件は、その内容を報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案：剰余金の処分の件
本件は、原案どおり承認可決され、当期の期末配当金は1株につき10円と決定いたしました。
- 第2号議案：定款一部変更の件
本件は、原案どおり承認可決されました。
- 第3号議案：取締役8名選任の件
本件は、原案どおり桑澤嘉英、木谷三夫、三田久郎、小玉明彦、佐藤喜美夫、芝山好一、山下信行、佐藤博志の8氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
- 第4号議案：監査役2名選任の件
本件は、原案どおり伊藤裕康、山本賢正の両氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

「マ」

「マ」イホームは、一生に一度のお買い物。だからこそ理想の住まいを手に入れたい。そんなお客様のサポートをするのが、クワザワサッシ工業株式会社です。新築の建設では、住む人のライフスタイルに合った「間取り」を重要視しがちですが、快適な暮らしをするためには窓や玄関の採光・遮光などの実用面がもっとも重要とされています。当社の子会社であるクワザワサッシ工業は、実用性はもちろんデザイン性にも富んだ製品の加工・施工を担っています。



具体的に製品の説明をしますと

- ①窓サッシ・・・大きく「樹脂サッシ」と「アルミサッシ」に分類されます。最近の一般住宅では、遮熱性能を重視した「ペアガラス・トリプルガラス」と「樹脂サッシ」の組み合わせが主流となっています。「樹脂サッシ」は、メーカーの工場で溶着して納品されるので工場加工はしませんが、現場でサッシ枠や、ガラス入れ（サイズや仕様にもよりますが重さが数百kgになる場合もあります）など、大掛かりな施工を行っています。一般木造住宅などは、重機の使用が難しいため多数のスタッフで施工を行っています。一方「アルミサッシ」は、マンションやテナントの入り口など大きな空間での施工が多いです。この場合は、図面に合わせて長さが6mのフロント材を工場で作成カットし施工します。木造は、比較的容易に取り付けできるのですが、RC構造などは溶接が必要になり職人技を駆使しています。
 - ②玄関ドア・・・扉、枠、把手、ドアクローザなどのパーツがすべて個別で納品され、すべてのパーツを工場を組み立てた後、現場で施工しています。
- このようにクワザワサッシ工業は、新築・リフォームを問わず、住宅サッシおよびビル用サッシを中心とした建築物の『開口部のプロ集団』として、より良い商品をお客様にお届けしています。

当

当社が、太陽光発電の事業を開始して約2年が経過しました。北海道夕張郡長沼町に所有する「ながめま太陽光発電所」は、当初のシミュレーションでは年間1,416MWhの売電を見込んでおりましたが、2016年度は予想を大きく上回る1,981MWhを売電しました。当初見込んでいたより天候が良くまた積雪によるロスが少なかったものと考えます。減価償却、各種諸経費を差し引いた利益でも約17百万円となり順調に推移しております。



北

北海道を基盤とする当社グループの中にも、本州に本社を構える子会社があります。今回紹介する丸三商事株式会社は、仙台市若林区にあり主に内装工事・外装工事を手がける会社です。東北地方と言えば2011年3月11日に発生した東日本大震災がいまだに記憶に残っております。この未曾有の地震により40万戸以上の建築物の倒壊が発生しました。丸三商事も例外ではなく、本社屋は被害を受け、市町村が実施する建築物の応急危険度判定は「危険」となり早急に仮事務所の手配が必要になりました。



地震発生直後の混乱期が収束に向かい、通常の仕事が回復していく中で、二つの大きな問題に直面しました。一つは職方不足です。労務費の上昇は当然ながら、絶対的人数が足りない事態となり全国建設室内工業協会を通じて全国から応援を受けました。またグループ会社の利点を生かし、株式会社クワザワ工業を通じて北海道からも大勢の応援を受け、この問題を乗り越えることができました。もう一つの問題は、材料などの運搬に欠かすことのできない車両の燃料不足でした。これは、社有車3台を緊急車両に指定してもらうことにより優先的に燃料を供給していただくことで解決することができました。それ以外でもさまざまな困難がありましたが、適時に対策や支援をいただき乗り越えることができました。

本社屋の復旧を終えるまで約2年かかるなど、震災から6年間、丸三商事はめまぐるしく変わる環境の中、全力で走ってまいりました。しかし、東北の復興は未だ発展途上にあります。仮設住宅での生活を余儀なくされている方など震災の爪あとが完全になくなるまで、公共工事および民間工事を通して東北の地域貢献活動にこれからも尽力してまいります。

主

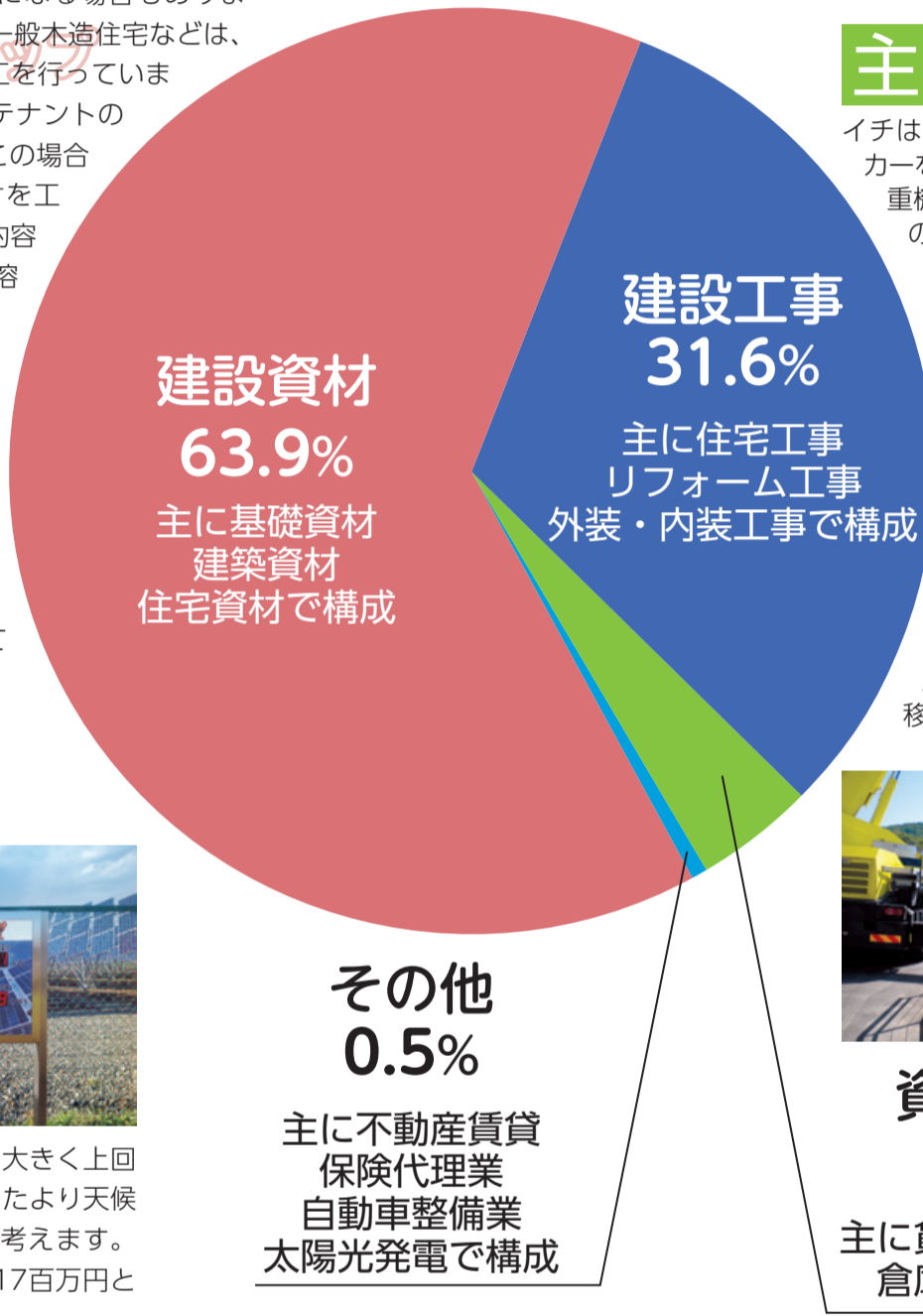
に運送を手がける子会社の株式会社サツイチ。サツイチは運輸サービス提供のため大型のトラックやダンプカーを多数所有しておりますが、ラフタークレーンなどの重機も所有しております。通常、このラフタークレーンの活躍の多くは建設現場なのですが、2016年に普段の仕事とは一味違う「札幌市円山動物園」からの依頼が飛び込みました。

札幌市円山動物園は、市民から愛される動物園をめざしたプロジェクトをスタート。その一環として施設や展示方法の見直しなど、動物舎のリニューアル工事を断続的に行っています。今回、サツイチはアフリカゾーン完成に伴う動物の移送を手がけました。それは、休園日に合わせた「カバの引越し」のお手伝いです。

カバはとても臆病な動物なので、この日のために事前に動物園側と入念な打ち合わせとリハーサルを重ね、細心の注意を払い臨みました。まずはカバサイズの特注の箱に移動してもらいます。無事に移動が終わったら、箱ごとクレーンで吊り上げトラックに乗せ、いざ移動。ここでも不安感を与えないために時間を掛け、ゆっくりとしたスピードで作業を進め、無事に新築のカバ・ライオン館に到着。再びクレーンで吊り上げゲージの中へ入れ、最後は箱を開けてカバを出し、ようやく移送作業が終了となりました。

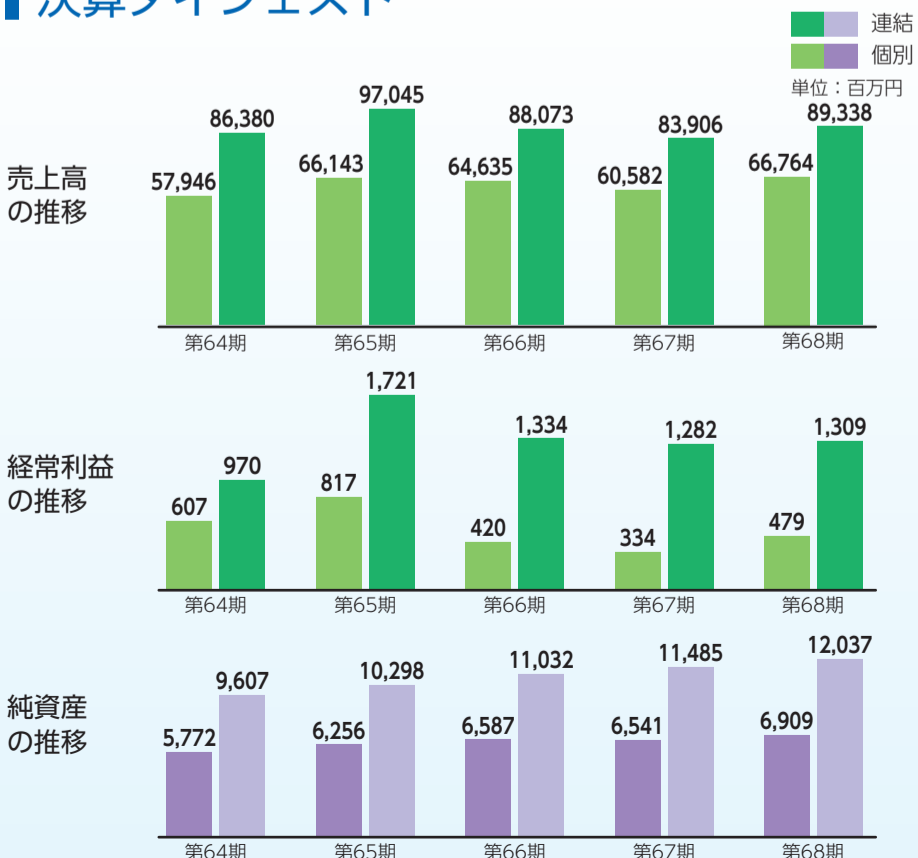


このような依頼はまれですが、黄色いキャビンのトラックやクレーンを見かけましたら、サツイチという会社を思い出していただければ幸いです。



資材運送 4.0%
主に貨物自動車運送、倉庫事業で構成

決算ダイジェスト



CSR(企業の社会的責任)への取り組み

クワザワグループでは、経営理念の一つである「社業を通じて地域社会の生活向上に貢献する。」に基づいて、グループ全体のCSR活動を推進しております。グループの取り扱う建設関連資材や建築物は世代を超えて使い続けられるものであり、十分な配慮と責任をもって関わることで、地域社会の生活向上に貢献することが使命と考えております。主な取り組みは次のとおりです。

コーポレートガバナンス

・経営における監視、監督体制の強化に努めると共に、お客様相談室を設置するなどすべてのステークホルダーに対する説明責任を果たします。

コンプライアンス

・定期的にコンプライアンス研修や法務研修を実施し、企業倫理、法令遵守に対する意識の向上と実践に努めております。

倫理・人権・労務

・経営方針、行動指針により、社員の行動規範やあるべき姿を明確化しています。

環境

・住宅リフォームやリノベーション、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）等を通じて、お客様に最適で環境にやさしいライフスタイルを継続的に提案することにより、「人と自然環境と技術の調和」による企業活動を推進しております。

お客様サービス、地域社会とのコミュニケーション

・海外からの技能実習生受け入れに対する支援を実施しております。
・YOSAKOIソーラン祭りなどの地元行事へ積極的に参加しております。

